

病害虫発生予察注意報第 1 号

令和 3 年 7 月 1 日
三重県病害虫防除所

1. 対象作物 : 水稻

2. 対象病害虫名 : ウンカ類(トビイロウンカ、セジロウンカ)

3. 発生地域 : 県内全域

4. 発生時期 : 7 月～10 月

5. 予想発生量 : 多

6. 注意報発令の根拠

(1) 松阪市嬉野川北町の予察灯(100w水銀灯)では、トビイロウンカ(1 頭)の初誘殺を 6 月 11 日に確認し、同 13 日にも 4 頭を確認しました。また、セジロウンカ(2 頭)の初誘殺を 6 月 12 日確認し、同 13 日にも 3 頭を確認しました。セジロウンカの初誘殺は、平年 7 月 3 日ですが本年のウンカ類の飛来時期は早い状況です。

(2) 日本植物防疫協会提供のウンカ飛来解析によると、三重県には 5 月 17 日、18 日、21 日、27 日、29 日及び 6 月 4 日に飛来した可能性があります(6 月 28 日現在)。

(3) 近県では、和歌山県、大阪府、奈良県、静岡県で例年より早くトビイロウンカの誘殺が確認されており、三重県でも広い範囲で飛来したと推察されます。

7. 防除上の注意事項

(1) 有効積算温度による発生予測によると、本年は飛来時期が早いことから第 3 世代の発生に伴う被害が 8 月中旬から予想されます。そのため、普通期水稻だけでなくコシヒカリ等の早期水稻でも被害が発生する可能性があるため、必ず防除対策を行いましょ。

(2) 以下のとおり作期ごとに防除を行いましょ。

①早期水稲

◎7月後半の農薬散布は第2世代幼虫の防除に効果があります。穂ぞろい期にカメムシ類の防除を兼ねた農薬散布を行いましょ。

②普通期水稲

◎移植時に箱施用剤などでウンカ類の防除をしていない場合や、箱施用剤の農薬成分がウンカ類に対して感受性低下が報告されているもの(表)である場合は、7月後半に農薬散布を行いましょ。

◎出穂期(8月)以降には、カメムシ類の防除を兼ねてウンカ類の防除を行いましょ。

(3) 本種は株元に生息するので、液剤・粉剤を散布する場合は株元に十分かかるよう散布してください。

(4) 感受性低下が報告されている下表の剤は使用を避けるようにしてください。

表 ウンカ類において感受性低下が報告されている農薬成分

虫種	農薬成分名
トビイロウンカ	イミダクロプリド、チアメトキサム、クロチアニジン、ブプロフェジン
セジロウンカ	フィプロニル



写真 2020年に発生したトビイロウンカの被害の状況(左)とトビイロウンカ成虫(右上:長翅型、右下:短翅型)

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください!